

新しい年の初めに (令和6年)

理事長 川島和子

新年あけましておめでとうございます。

酷暑の夏、地球温暖化は、はっきりと私たちに可視化できるように姿を現し季節の異変を生じてきました。地球上に生きる一人の人間として、今できることに関心を寄せ地球への謝罪を思う年の初めとなりました。

私たちは、11月に念願であった先進地視察の研修会ができました。「とっとりひきこもり生活支援センター」での取り組みは、私たちのこれからの大きな示唆を与えるものとなり参加者それぞれが学びを深める時間となりました。

国の社会福祉法改正を機に行政へ窓口の明確化などを要望してきました。今年は、市民に向けての「ひきこもり理解のための講演会」が開かれその後家族の相談会も開かれました。しかし、不安を抱えた相談者は、継続的な相談の場であるよりどころを見出せぬまま「来年度にまた。」と担当者の言葉で別れることとなりました。行政の力が及ばない事実に向き合いました。こんな時に私たちは、力を発揮できると相談者の方々に会のご案内をしました。60代のお父さんの苦渋に満ちた顔が笑顔に変わった様子が忘れられません。リカバリーしている若者さんは、相談者にとって希望の光です。

この1年「津山・きびの会」に集う若者たちの中には、就職活動の体験を通して目まぐるしく変化する社会へ舟をこぎ出す姿がありました。私たちが長年守り育ててきた、この居場所は、彼らの帰る港であります。この港、そしてこの港町を発展させることが、船出してゆく彼らを支え勇気づけるものとなります。皆さんで智慧を出し合って新しい「津山・きびの会」の町づくりを楽しんでみませんか。来年度は、役員改選の時期です。皆さんの一人一人が会の代表者です。この1年をかけて新しい港町づくりを提案してください。

希望に満ちた年でありますように。

9月びあカフェ(茶話会)開催報告(9月24日(日)14時-16時)

目的:びあカフェは、津山きびの会のピアサポーター(ひきこもり経験者・当事者家族)が主催するイベントです。今回は語り合いを目的として、座談会・茶話会をした。

参加者:11名(女性6名・男性5名、20代-80代、KHJ岡山きびの会から3名)

内容:前半(座談会):参加者を2つのグループに分けました。(家族・当事者グループ)

参加者の声

・場を作ってくださった皆さんに感謝です。

・様々な話が聞けて、自分のことも話せて良かったです。

・楽しかったし、勉強になりました。お菓子と珈琲がとても美味しかったです。

主催の感想:・参加者が多かったため、2グループに分けたことは良かったと思います。前回は混合グループでしたが、家族と当事者グループに分けるほうが話しやすい。

・KHJ岡山きびの会の方々に参加されて、話が盛り上がりました。外部の方の参加は良い刺激になりました。

・アンジェの焼き菓子と、ばんこく珈琲の豆をペーパードリップで淹れたコーヒーを提供し好評で満足です。今後も、参加者に楽しんでいただけるよう工夫していきたいです。

11月びあカフェ(茶話会)開催報告(11月12日(日)14時-16時)

目的:びあカフェは、津山きびの会のピアサポーター(ひきこもり経験者・当事者家族)が主催するイベントです。今回は語り合いを目的に座談会・茶話会を行いました。

参加者:9名(女性6名・男性3名、20代-80代)

内容:・手作りしたピザと、ペーパードリップで淹れたコーヒーを楽しみました。

・自己紹介:近況や、きびの会に来られた理由など、思い思いに話しました。

・言いつばなし聴きつばなし:順番にお一人ずつ、持ち時間5分で「自分の話したいこと」を話した。

参加者の声:・会を重ねて本当に心開ける素晴らしい会になりました。はじめて参加の方も大変喜ばれていました。・話をして気持ちがスカッとして良かった。

・皆様とお話ができて、よかったです。

主催の感想:・初参加の方が3名来られ、喜んでいただけたので良かったです。「どなたでも歓迎」という告知が効果的で、初参加者が増えました。これからも新しい方を積極的に受け入れる場にしていきたいです。

・言いつばなし聴きつばなし形式はうまくいきました。全員が話すことができ、司会の負担も減りました。今後もこの形式を続けていく予定です(次回は3月に開催予定)